



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <http://www.chimney.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 和泉 學
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長(氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,532	—	2,531	—	2,612	—	1,404	—
29年3月期第3四半期	34,712	△0.1	2,152	△11.9	2,186	△12.4	1,079	△20.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,487百万円(—%) 29年3月期第3四半期 1,063百万円(△23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	73.39	72.87
29年3月期第3四半期	56.73	56.07

(注) 当社は、平成29年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、平成30年3月期第3四半期(平成29年4月1日から平成29年12月31日)は、比較対象となる平成29年3月期第3四半期(平成28年1月1日から平成28年9月30日)とは対象期間が異なるため、平成30年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,308	16,492	54.4
29年3月期	26,451	15,535	58.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,488百万円 29年3月期 15,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	11.50	—	—	17.25	28.75
30年3月期	—	11.50	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,230	—	3,380	—	3,400	—	1,710	—	89.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期は決算期変更により15ヶ月決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	19,340,800株	29年3月期	19,340,800株
30年3月期3Q	196,700株	29年3月期	234,700株
30年3月期3Q	19,135,409株	29年3月期3Q	19,027,961株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が継続し、個人消費にも持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移致しました。一方、海外における地政学リスクの高まり等により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、売上全体としては堅調に推移したものの、お客様の節約志向・選別志向は厳しく、居酒屋業界は仕入価格の上昇や他業種を含めた競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは価値あるものをお客様に提供するため、引き続き、食の六次産業化の深耕と地産地消・地産全消の推進に取り組んでまいりました。

飲食事業におきましては、「目の前にいるお客様を大切に」「お客様に喜んで帰っていただく」を行動指針とし、サービスレベル向上のため、人財の教育訓練や外国人採用に取り組んでまいりました。

また、アライアンスの展開としまして、4月にワインに着目したぶどう事業部、12月にオムライス・ハンバーグなど食事需要をメインとした66洋食事業部を事業譲受により発足致しました。6月に資本業務提携致しましたマルシェ株式会社とは、協働領域、競合領域を意識し、商品供給力、メニュー作成力、双方の地域特性を活かした営業力の強化等、様々なシナジーを追求しております。

コントラクト事業におきましては、固定客が継続的にご来店になる事業形態の特性に対応し、店舗での通常営業に加え、引き続き、サプライズ誕生パーティー、屋外バーベキュー、マグロ解体ショーといったイベントに注力する他、各種行事、記念イベント等のケータリング事業の拡大強化に努めました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が29店舗（5店舗の退店）、フランチャイズへの建売が11店舗あったことにより、当第3四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は345店舗（前期末332店舗、前年同四半期末329店舗、前年同月末336店舗）となりました。コントラクト店につきましては、退店が1店舗あったことにより、当第3四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は91店舗（前期末92店舗、前年同四半期末92店舗、前年同月末92店舗）となりました。また、フランチャイズ店は新規出店が1店舗（9店舗の退店）、直営店からの転換が11店舗あったことにより、当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は286店舗（前期末283店舗、前年同四半期末283店舗、前年同月末288店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第3四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は19店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は12店舗であり、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は753店舗、当社の店舗数は722店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高35,532百万円、営業利益2,531百万円、経常利益2,612百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,404百万円となりました。

なお、前連結会計年度は、決算期の変更により、平成28年1月1日から平成29年3月31日までの15ヶ月間となっております。これにより、当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日）は、比較対象となる前第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年9月30日）と対象期間が異なるため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて3,857百万円増加し、30,308百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が275百万円、のれんが236百万円減少した一方で、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であったことによる現金及び預金の増加3,012百万円や、投資有価証券の増加906百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて2,900百万円増加し、13,816百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が888百万円減少した一方で、資産と同様に、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であったことなどにより買掛金が1,919百万円、未払金が831百万円増加したことや、未払法人税等が529百万円、前受収益が277百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて956百万円増加し、16,492百万円となりました。増加の主な内訳は、配当金の支払いが549百万円あった一方で、当第3四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が1,404百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成29年5月9日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,393,264	8,406,248
売掛金	457,148	773,486
F C債権	409,520	431,863
商品	370,893	369,767
貯蔵品	20,435	14,334
その他	1,073,551	1,236,439
貸倒引当金	△164,028	△151,499
流動資産合計	7,560,785	11,080,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,975,720	4,782,536
その他(純額)	886,042	804,065
有形固定資産合計	5,861,763	5,586,601
無形固定資産		
のれん	6,036,671	5,800,652
その他	64,938	50,136
無形固定資産合計	6,101,610	5,850,789
投資その他の資産		
差入保証金	6,244,095	6,178,551
その他	722,591	1,617,002
貸倒引当金	△39,296	△4,895
投資その他の資産合計	6,927,391	7,790,658
固定資産合計	18,890,765	19,228,050
資産合計	26,451,551	30,308,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,781,846	3,700,915
F C 債務	466,249	635,294
1年内返済予定の長期借入金	459,984	459,984
未払法人税等	253,624	783,177
賞与引当金	248,202	75,718
役員賞与引当金	8,160	29,920
資産除去債務	7,544	14,857
その他	2,960,896	3,918,995
流動負債合計	6,186,508	9,618,863
固定負債		
長期借入金	1,215,036	870,048
退職給付に係る負債	167,443	181,700
資産除去債務	908,175	931,236
その他	2,438,588	2,214,217
固定負債合計	4,729,243	4,197,202
負債合計	10,915,752	13,816,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,772,621	5,772,621
資本剰余金	2,469,616	2,408,360
利益剰余金	7,739,072	8,593,726
自己株式	△495,819	△415,563
株主資本合計	15,485,490	16,359,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,951	130,060
退職給付に係る調整累計額	△1,180	△295
その他の包括利益累計額合計	46,771	129,765
非支配株主持分	3,536	3,715
純資産合計	15,535,798	16,492,626
負債純資産合計	26,451,551	30,308,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	34,712,764	35,532,397
売上原価	11,443,774	11,625,185
売上総利益	23,268,990	23,907,212
販売費及び一般管理費	21,116,068	21,375,386
営業利益	2,152,921	2,531,826
営業外収益		
受取利息	8,431	4,516
受取配当金	1,040	7,362
受取手数料	41,602	50,666
その他	27,289	40,084
営業外収益合計	78,363	102,629
営業外費用		
支払利息	33,262	14,445
その他	11,992	7,465
営業外費用合計	45,255	21,910
経常利益	2,186,029	2,612,545
特別利益		
固定資産売却益	13,000	300
受取補償金	—	77,456
工事負担金等受入額	33,120	—
特別利益合計	46,120	77,756
特別損失		
固定資産売却損	8,355	4,534
固定資産除却損	51,401	48,967
減損損失	118,710	138,855
火災損失	—	72,426
その他	18,072	17,924
特別損失合計	196,539	282,708
税金等調整前四半期純利益	2,035,610	2,407,593
法人税、住民税及び事業税	975,672	1,067,699
法人税等調整額	△19,735	△64,676
法人税等合計	955,937	1,003,023
四半期純利益	1,079,672	1,404,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,079,538	1,404,391

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,079,672	1,404,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,176	82,109
退職給付に係る調整額	820	885
その他の包括利益合計	△16,356	82,994
四半期包括利益	1,063,316	1,487,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,063,182	1,487,386
非支配株主に係る四半期包括利益	134	178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業とその他がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。